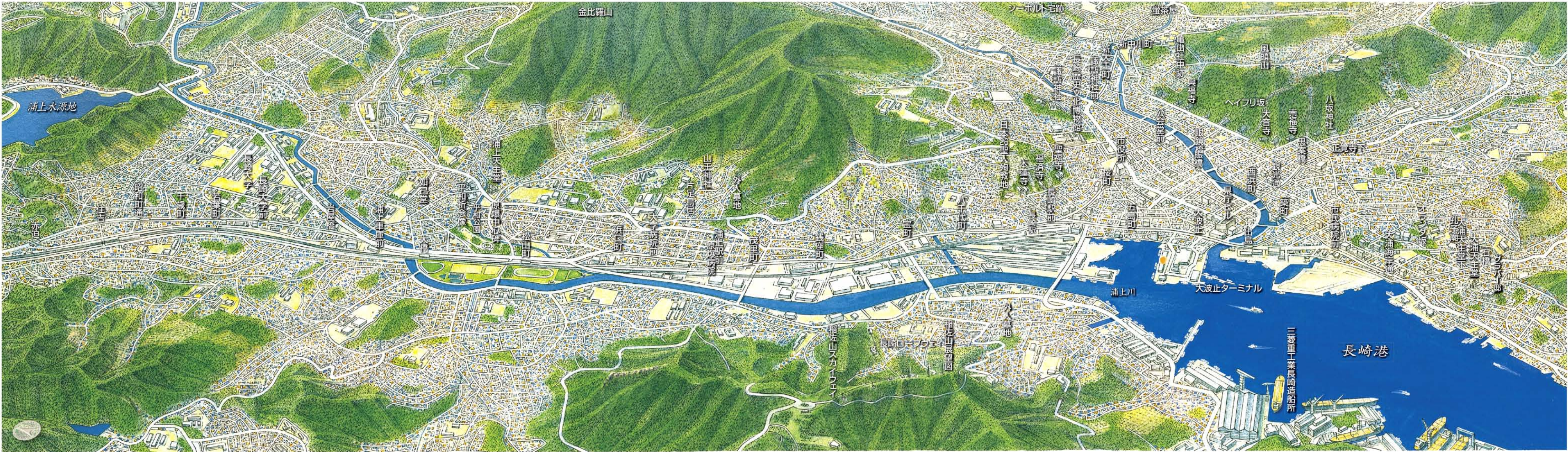




如己堂 如己堂とは己のごとく人を受けよという意味。長崎の鐘の著者永井隆博士の住居。質素で清廉な暮らしが見える。

浦上天主堂 大正14年、フランス人宣教師フレネー神父の設計により完成。原爆によって破壊されたが、昭和34年に現在の天主堂が再建された。

平和公園 昭和24年(1949)、長崎国際文化都市建設法により、爆心地の松山町を中心に建設された。平和公園になっているところは、被爆以前は浦上刑務支所の敷地だった。

平和祈念像 右手は天を指して原爆の脅威を左手は水平に伸ばして平和を象徴している。ここで原爆投下の8月9日に平和祈念式が行なわれる。

平和の泉 水を水を、と叫びながら息絶えた人びとを悼んで、昭和44年(1969)に建てられた。

世界平和シンボルゾーン 長崎市では平和公園の東側一帯を世界平和シンボルゾーンとして、世界各国に記念碑の商標と建立を呼びかけている。ボルトガルの姉妹都市ボルト市の記念碑、チェコスロ(キア社会主義共和国の「人生の喜び」、ブルガリア人民共和国の「Aコーリ」、ドイツ民主共和国の「諸国民友好の像」などが建てられている。

浦上天守堂の遺壁 原爆で崩れ落ちた天守堂の壁が転移されている。芝生の広場、ザベリオと使徒の像の下に松山町300世帯の町があった。

長崎原爆資料館 原爆の悲惨さを伝える写真や遺品を展示し、ビデオで説明するばかりでなく、核兵器開発の歴史や平和への希求を訴えている。

原爆落下中心地 原爆はこの地の上空500mで炸裂した。「昭和20年8月9日午前11時2分、一発の原子爆弾がこの地の上空500mで大きく裂し、73,800人の尊い生命を奪い、

76,700人の負傷者を出した。

松山町 このあたりは原爆により全焼(11,574戸)もしくは、全壊(1326)、盆地縁辺の山麓、もしくは山腹では、半焼以上(5509戸)となり、死者7万3000人、傷者および行方不明7万4909人の被害を受けた。

爆心地の岸 中島川の護岸には被爆した当時の石が留められている。

片足鳥居 浦上皇太神宮本殿は原爆で破壊されたが鳥居の半分だけが残った。片足鳥居の残り 破壊され健気に片足でも立っている鳥居の足元に基部や残りの石材が保存されている

山王神社 原の乱直後に創建。当時浦上地区はキリシタンが多く神社がないため造られたともいう。

楠の大樹 被爆時に黒焦げとなった楠が昭和22年頃若芽をだし人々に希望を与えた。

坂本国際墓地 英・米・ポルトガル・ユダヤなど諸外国人たちの墓が、それぞれの意匠をこらして立ち並んでいる。急な坂道で26聖人殉教地

大波止ターミナル 離島の多い長崎県にとって、海の交通の要衝となっている。小型船、大型船が行き交い人々にぎわっている。伊王島や対馬などへの高速フェリーが頻繁に発着している。港めぐり遊覧船もここから。

主な航路 長崎…奈良尾…奈良(五島)…福江(五島) 長崎…福江港(五島) 長崎…蘭の浦(上五島) 長崎…神の島…伊王島…高島

ペーロン 毎年7月の最終日曜日

長崎駅 長崎駅時計台 アミュプラザとの間の広場は自由空間として生かえった。お土産を扱う観光客だけでなく、乗換客のショッピングゾーンになった。

長崎駅前商店街 手軽な食街。チャンポン、中華料理をメインに町の洋食屋や寿司屋など種類は豊富。地元客が主体だ。

稲佐山ロープウェイケーブル乗場 神社の脇道を上る。うっそうとした樹林に囲まれている。

稲佐山展望台 標高333m。春には桜、ツツジ、秋にはもみじに彩られる。展望台からは、長崎港や長崎五島までも見渡せる。ここからの夜景は、函館、神戸とならび、1,000万ドルの夜景といわれている。

稲佐山自然公園 市内へ中腹駅からは徒歩1時間ほどで市内へおろくことができる。豊かな自然林を歩くのは気持ちいい。時々、木々の間から展望が開ける。

悟真寺 鎖国時代にも渡航していた中国商人が菩提寺として開山した。悟真寺通りは江の浦、延命寺をへて旭町の棧橋へ。小さな商店が並び、

新地中華街 長崎異国情緒の入口。中華食材や土産物で賑わう。古くは唐人屋敷のあたりにあったが、火事を境に移転したため新地とよばれる。

オランダ坂 「オランダさん」と呼ばれていた西洋人が通った坂。切り通しの細い小径に石畳を敷き詰めた

東山手洋風住宅群 旧仏国領事館。江戸武家屋敷風つち堀と洋館、さらにレンガ壁に瓦が乗るという、とりあわせながら妙に調和している。当時の職人の技量である。

旧英国領事館跡 野口弥太郎記念美術館 赤レンガ造りの洋館で、明治41年の建築。

に行われる。伯龍ともかく中国南部で盛んな大競艇まつり。始まりは1855年に唐船の水夫が水難者の霊を鎮めるためにはじめたという。鐘やドラを叩き鳴らし艦をたててスピードを競う。当日は近隣から選抜チームが集まり自然する。

長崎港 200年以上も続いた鎖国の時代にも平戸とともに国外に開かれ、国際交流の表舞台となっていた外国人が居留し、貿易の要として発展した。

出島 埋めたてで一度は姿を消した出島の復元が始まった。水門や出島商館の内部なども復元され観光の新名所となっている。

出島表門 粗末な木の門であるが、ここから先が治外法権。日本の法律は届かなかった。役人が立ち日本人の出入りを厳しく取り締まった。

長崎県庁 1868年の明治維新とともにそれまでの長崎府が長崎県となった。長い海岸線を要する多彩な郷土。杵枝や対馬、五島列島を含む広範囲な地域への行政サービスの中心。

大浦天主堂旧羅典神学校 骨格は木造である。木の柱にレンガ造り三階建て地下室あり。1875年の建造。この木造建築は日本の大工が建てた。

長崎カステラ はじめて長崎に伝えたのが16世紀。砂糖を使った焼き菓子だが、今でも老舗の職人の手で連続と焼かれている。

旧香港上海銀行長崎支店記念館 明治期には神戸以西で唯一外国為替業務を行っていた銀行。各階に異なる様式で変化をけている。

興福寺 南京寺とも呼ばれる日本最初の黄檗禅宗の唐寺。唐僧真円により開かれ、隠元(1592～1673)日本黄檗宗の開祖。中国福州福清の人。来日の際に野菜のいんげん豆を日本に伝え、ひのめの由來となったという。

野口弥太郎は独特の色彩感覚で長崎の油彩画を多く残した。館内には当時のアトリエが再現。

孔子廟・中国歴代博物館 中国の思想家、孔子の遺品を祀る。清朝政府と在住華僑により1893年に建立。

大浦天主堂 日本の聖母、信徒発見の記念堂。参道は石畳の道が天守堂まで続き両側には店が立ち並び

信徒発見の聖母像 1965年3月17日この像のもとで、浦上に隠れていたキリシタンが信仰の告白をしたという。信徒にとってキリスト教復活の大きな喜びの舞台となった由緒をもつ像。

日本之聖母像 信仰の告白が行われた1865年3月17日は250年絶えていた日本でのキリスト教信仰が復活した日として、ヨーロッパ諸国に報いられた。この報告は宣教師を送っていたフランスでは特に大きな喜びで迎えられ、その翌年には教会復活の祝にこの像が寄贈された。

グラバー園 長崎港を一望できる景勝地にある。園内にはグラバー邸・リンガー邸・オルト邸など由緒ある洋館を集め復元している。

大浦天主堂旧羅典神学校 骨格は木造である。木の柱にレンガ造り三階建て地下室あり。1875年の建造。この木造建築は日本の大工が建てた。

長崎カステラ はじめて長崎に伝えたのが16世紀。砂糖を使った焼き菓子だが、今でも老舗の職人の手で連続と焼かれている。

旧香港上海銀行長崎支店記念館 明治期には神戸以西で唯一外国為替業務を行っていた銀行。各階に異なる様式で変化をけている。

興福寺 南京寺とも呼ばれる日本最初の黄檗禅宗の唐寺。唐僧真円により開かれ、隠元(1592～1673)日本黄檗宗の開祖。中国福州福清の人。来日の際に野菜のいんげん豆を日本に伝え、ひのめの由來となったという。

興福寺 南京寺とも呼ばれる日本最初の黄檗禅宗の唐寺。唐僧真円により開かれ、隠元(1592～1673)日本黄檗宗の開祖。中国福州福清の人。来日の際に野菜のいんげん豆を日本に伝え、ひのめの由來となったという。

寺町 仏具屋や飾り具が立ち並び一方、山裾には寺と墓。白壁と石垣が続く。時代のとまった街の雰囲気であるが、車の通行は多い。

公会堂前 二系統の電車がここで合流するため、長崎駅方面と築町方面と電停が二箇所ある。

ヘイフリ坂 (幣振坂) 諏訪神社の鳥居造営のため風頭山から石材を降ろす時、御幣を振りながら作業したため御幣を振る。幣振坂と呼ばれる。

眼鏡橋 中島川には木造の橋があったが、度重なる水害で流され、17世紀に中国式アーチ型石橋に架け替えられた。眼鏡橋は昭和57年(1982)7月の水害で半壊したが、翌年復元された。

袋橋 石積の方法から眼鏡橋に次いで古いと思われる。眼鏡橋を写真に映すために渡る人も多いのだが、実は度々の洪水に耐えた風格もある。

忠実橋の碑 長崎を代表する飲食街であるが、豊かな歴史の背景をもった街でもある。忠実橋、恵切橋とネーミングがおもしろい。

料亭花月 坂本電馬が酔った勢いでつけた刀キズの残るある邸。円山一帯は遊廓で、このあたりには伝統のある料亭が多く残されている。

館内町のたたずまい 坂にある町は絵にしやすいのだが…展望がひらける場所を探して家々の間を歩くと、落ちついた路地がここに見られる。

亀山社中の跡 この交通辺鄙な山の上。坂本電馬が結成した日本初の海運会社の始まりと

崇福寺 崇福寺の福は福建省のあるところ。福州寺とも呼ばれる。

る。電宮門をくぐると見事な筆跡の第一の峰の偏額がかかる。

崇福寺大雄宝殿 寺の中心本堂となる建物。中国式の基礎に日本式の上層と二つの様式を合わせ持つ。近年修復され色彩がまばゆい。

坂道 石段と坂道の電馬通り。人家の間をぬってゆく。人数に関わらず配慮が必要。ふりかえると急斜面。

高島秋帆邸跡 高島秋帆の開祖となった高島秋帆の別邸跡。ここで大砲の試射をくり返し改良に動んだ。標的となって破壊された石が残る。

路面電車 正式には長崎電気軌道というのだが、チンチン電車の名で親しまれている。轟という運転音と鐘の音は長崎の風物といっている。一度でも長崎に住んだ人は、この音を聞かないと渡される。千円なら2袋、500円ならひと袋である。わたされた袋を置いて100円を下車時に運賃箱にいれればOK。名前は信号待ちなど運転手に余裕のある時を見計らって頼んでいる。両替えと支払いを同時にしないのモナーのようだ。なにより100円をしつかり握りしめてから、乗ればよいのだが。

両替バツク 100円玉が5枚入っている。発進/停止の時をそいて運転手に両替をたのむと渡される。千円なら2袋、500円ならひと袋である。わたされた袋を置いて100円を下車時に運賃箱にいれればOK。名前は信号待ちなど運転手に余裕のある時を見計らって頼んでいる。両替えと支払いを同時にしないのモナーのようだ。なにより100円をしつかり握りしめてから、乗ればよいのだが。

大音寺 1616年伝譽上人の開山による浄土宗寺院。法然上人行状絵図がある。諸堂を整えた大伽藍。

三聖寺 三聖寺は、唐土の僧侶により創建。中国と日本が調和した建築様式が独特。

諏訪神社 おすわさまと親しまれている氏神。秋の神事「おくんち」は豪華絢爛たる祭で日本三大祭に数えられ長崎っ子の血をわかせる。

諏訪神社の石段 70段以上もある壮大な石段。毎年10月7～9日に行われるおくんちではこの階段でも人埋め尽くされる。

おくんち 寛永11年(1634)より始まった諏訪神社の大祭で、10月7,9日に行なわれる。旧暦の9月9日(くんち)の重陽の節句に秋祭を行なうことからきたもので、尊称をつけ「おくんち」と呼んでいる。長崎くんちは歴代長崎奉行の庇護のもとに絶えることなく続けられてきた。奉納踊りは、77町より1年に11町が順番で受け持つ。10月7日、神社の正面石段前で、ドッポと呼ばれる威勢のよい一群が中心で奉納踊りが行なわれる。

松の森神社 普原道真を祀る。長崎の学問の神様として親しまれ、諏訪神社・伊勢宮とともに長崎の三社。

日本最初の缶詰製造所跡 なぜに日本初の碑が長崎には林立するのだろうか。貿易が、長崎と函館に限られていたからだろうか。

春徳寺 1643年トードスオサントス教会の跡に建てられた。左手が春徳寺。長崎基左衛門屋敷跡がここ。

蟹茶屋 大正時代まではここに茶屋があり、旅立つ人はここで別れをつけたという。その後、橋が渡されトンネルができて現在に。

長崎班別行動地図 2009年3月5日 第1刷発行 2011年5月5日 第3刷改訂

お申し込みはファックスで 03-3233-1213

お申し込みはファックスで 03-3233-1213

お申し込みはファックスで 03-3233-1213

シーボルト記念館 オランダのシーボルト旧邸がモチーフになっている建物。シーボルトの資料を一室に集めている。左手が邸宅跡。

シーボルト宅跡 シーボルトは1824年異例の許可を得て、私塾鳴滝庵を開いた。日本造の母屋の内部に西洋風を加味し生垣をめぐるしていた。

シーボルト通り 諏訪神社からシーボルト宅跡へと歩くには、ここを直進。旧家の点在する商店街は心おちつく雰囲気がある新大工町商店街とも呼ばれる。

びわゼリー 長崎に始まって全国区に置進中のフルーツデザート。あの大きな種がないのが好評のわけ。茂木町は、びわの産地である。

ハタ 風のことをハタと呼ぶ。のんびりした習慣ではあるが…ここではハタ揚げは勝負である。糸にガラス粉をつけ相手の糸を切り合うって勝負する。春のよい風が吹く頃には、あちこちで風が舞い上がる。

卓袱料理 卓袱とは円卓の事。普茶料理の形式に中国料理とオランダ料理、和風料理が混然一体となった料理。海と山、外国貿易による食材豊かな長崎ならではの料理。

ちゃんぽん 独特の太い中華麺に、豚肉、魚介、ねぎ、もやし、きくらげ、人参、かまぼこ、きゃべつをつく野菜がある新大工町商店街とも呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

卓袱料理 卓袱とは円卓の事。普茶料理の形式に中国料理とオランダ料理、和風料理が混然一体となった料理。海と山、外国貿易による食材豊かな長崎ならではの料理。

ちゃんぽん 独特の太い中華麺に、豚肉、魚介、ねぎ、もやし、きくらげ、人参、かまぼこ、きゃべつをつく野菜がある新大工町商店街とも呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。

カラスミ 海の珍味として長崎の名物でもある。近海に多いボラの卵巣を塩漬け後干して作られる。中国の墨に似ている事から唐墨と呼ばれる。